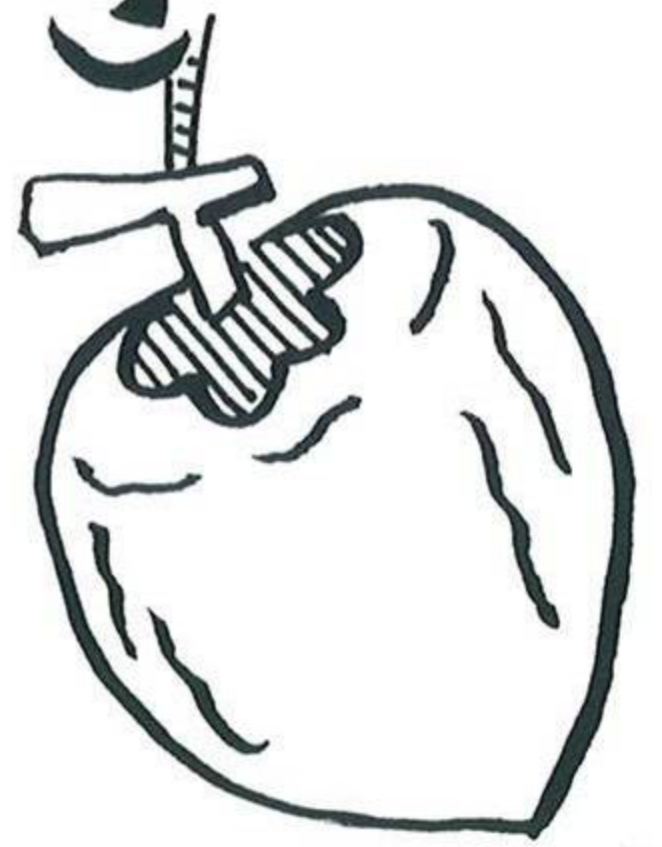


山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ



つるし柿

はたおと秩父

秩父市



「まちづくりまよ  
十真、錦クラフト体験」

地域おこし協力隊

たより No.13



はたおと  
秩父

秩父銘仙

型染め出前授業

10月31日 西小学校



秩父市立西小学校の4年生を対象に、秩父銘仙型染め出前授業を行いました。銘仙着物などを展示した教室で、プロジェクターを使い、秩父銘仙工程を説明しましたが、秩父銘仙を知っている児童がたく、より深く秩父銘仙について理解してもらえたかと思います。型染め体験では、好みの型紙を使い、巾着に模様を染めていきました。今年は 予め、学校で蚕を育てていただき、まゆから糸を取り出す「産糸祭り」の実演も行いました。蚕が虫蛹になるために作ったまゆから、1本の細い糸が取れる事に、児童の皆さんはとても関心していました。この授業を通して、地域に伝わる伝統文化を身近に感じてもらい、自分達もそれらを守り、継承する担い手の一人であると意識を持ってもらえればと思います。

## ～秩父銘仙と秩父夜祭り～

秩父は昔から養蚕が盛んで、南蚕渡来の「シマモリ」の影響を受け、秩父に絹物銘仙が生産されるようになりました。

そして秩父盆地の各所に秩父絹市がたぎって見られました。

現在、伝統を誇り絢爛たる秩父夜祭りも、その霜月の絹取引の市であり、別名「お蚕祭り」と称されています。



秩父銘仙と秩父夜祭りは、ふか～く関係しているんだネ。

# 「日本百選の旅 あの街へ、東急電鉄へ」

横浜 ↔ 埼玉間が電車1本でつながり、便利になった東急電鉄。車内ビジョンやWEBサイトにて、「日本百選の旅 あの街へ東急電鉄へ」の埼玉・秩父編の1シーンで、ちちぶ銘仙食官が紹介されます。内容は、秩父銘仙はた織り実演や織物体験などが放映される予定です。この車内映像をきっかけに、秩父に興味を持って、足を運ぶ利用客が増えることを原頁います。東急線ご利用の際には、皆さまもぜひご覧下さいませ。

放映内容・車内ビジョン等：2013年12月15日頃～(1ヶ月予定)

WEB：2013年12月15日頃～2015年3月頃(予定)

↳ (東京急行電鉄WEBサイトにて展開する特設サイト)

## ちちぶ銘仙館ビデオルーム

ちちぶ銘仙館では、ちちぶ銘仙に関するビデオを放送しています。

館内見学前後、小休止しつつ…ぜひご覧下さい。〳〵

まゆ太郎



毎月第2土曜日、ちちぶ銘仙館では、すべての設備が稼働し、まゆから糸になるまでの工程をご覧いただけます。お気軽に足を運ばれてみてはいかがでしょうか？

作成：秩父市  
地域おこし協力隊  
南  
お問い合わせ先：  
秩父市産業観光部  
商工課内  
TEL: 0494-25-5208

# 大滝

## せせらぎ

### 通信

12月号

秋夕市  
地域おこし協隊  
吉本隆久

## 大滝小中ふれあい祭り

11月2日、大滝小学校にて大滝小中ふれあい祭りが開催されました。祭りの前半では小中学生による三峯神楽や合唱・合奏、そして詩の暗唱などが披露されました。また婦人会の皆さんが民謡を披露しました。

大勢のお客さんが見ている中で何かを披露するのは誰でも緊張するものですが、三峯神楽をはじめとした小中学生による演奏や演舞は緊張を感ぜさせない素晴らしいものでした。特に私が驚いたのは詩の暗唱です。あれだけ多くのお客さんの前で、一人で声を発するというのはとても難しいことだと思います。しかし大滝小中学校の生徒たちは元気良く自信を持って暗唱していました。

大滝小学校は来年度から荒川西小学校と統合します。生徒たちは新しい学校に通うことになり、そして今までよりずっと大勢の同級生と過ごすことになりました。今回の詩の暗唱は大勢の同級生の中でも、元気良く発言できるはずだと強く感じさせてくれるものでした。



## 柚子・柿の収穫

11月中、柚子や柿の収穫を手伝ったり、譲ったりしました。頂いた柚子や柿は新しい商品の開発などに使いたいと考えています。ありがとうございました。

今回、収穫の手伝いをして、柚子と柿の収穫の難しさを知りました。柚子は靴底をも貫通するバラがあり、柿の木は脆く折れやすいということを手伝って体験できました。今まで収穫されてきた方々の苦勞が偶ばれました。今後も収穫できない収穫しない柚子などの収穫を手伝いたいと思っています。よろしくお願いたします。

# 秩父ジオパーク源流シンポジウム

11月17日・18日、秩父ジオパーク源流シンポジウムが開催されました。始めに地質学の見地から大滝地域を中心に見て回りました。普段から地域を見て回っているが、別の視点から眺めることで見慣れた景色に新鮮さを感じ、大滝をより深く知ることができました。今後も様々な視点を取り入れて、大滝の魅力を発見していけたらと思います。

また二日目には源流地域における地域活性化に関する講演会が行われました。講演会では、まず全国源流ネットワーク代表の中村文明先生による基調講演が行われ、その後山梨県の源流地域における活動や、秩父地域で活躍する高校生の活動が報告されました。また私や前協力隊の稲垣さんも活動報告を行いました。

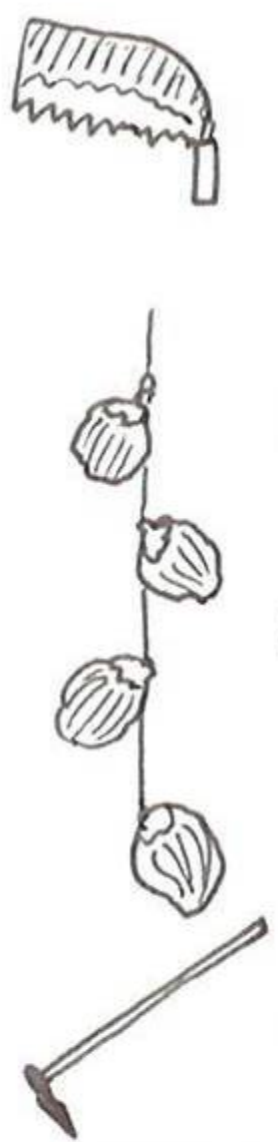
大滝地域に限らず、全国の源流地域では過疎化が深刻だそうです。人は便利で物の溢れる都会に流れていき、源流地域は忘れられつつあります。

しかし源流が清浄に保たれていなければ、綺麗な美味しい水や空気は都会に供給されません。源流があつてこそその都会の生活であることを忘れてはいけません。講演を聞いてこの様な事を改めて感じました。

## 滝沢の記憶

11月19日〜27日、秩父市立図書館にて「滝沢の記憶」写真展が開催されました。写真展では滝沢ダム事業とそこに暮らしていた人々の生活文化を後世に残すために新井靖雄氏より秩父市に寄贈された貴重な写真が数多く展示されていました。

写真を見つめて、当時の暮らしがじりやダム建設に対する思いや葛藤を垣間見ることができました。また、ダムを利用する者として、ダム建設によって居場所を無くした生活文化や伝統を守り、伝えていかねばならないのかなと感じました。



# 奥秩父 大滝紅葉まつり

11月10日、三峯神社にて奥秩父大滝紅葉まつりメインイベントが開催されました。三峯神社がパワースポットとしてメディアで取り上げられていることもあり、当日は秩父地域の方や観光客で大変賑わいました。またその日は雨の予報だったのですが、三峯神社周辺は晴れ間がのぞく時間帯もありました。お祭りの期間中、私たち協力隊も三峯神領民家にて、秩父銘仙の展示と秩父産繭を使った真綿作りの体験イベントを行いました。

ご縁  
コーナー

## … 三峯神領民家 …



神社南側の傾斜地には今も集落がありますが、江戸時代にはここは三峯神社の神領とされ、住民は神社に年貢を納め、神社に従事していました。神領民家は江戸時代に建てられてから、昭和54年に寄贈されて今の場所に移築されるまで、実際に利用されていました。移築後公開されていた時期もありますが、現在はほとんど開けることは無いそうです。そのため今回イベントでお借りするにあたり、まず大掃除を行いました。始めは埃や煤だらけでしたが、水拭きを何回もするうちに木の光沢が蘇った時は、協力隊員二人揃って目を丸くして驚きました。



### 南隊員

掃除前は、カメ虫等の住み家となっていました。埃や煤を掃除すると、とってもキレイになり、神領民家を通しておびさびを感じる事ができました。

### 吉本隊員

光沢が蘇った時は木がまだ生きているということを実感しました。

お祭りの時、神領民家の内部を見たいという方が多くいらしたので、今後、内部公開のお手伝いをしていけたらと思います。

